

だい 13 課 お祭り

〈この課で伝え合うこと〉

神社や寺で行われる伝統的で有名な祭りや、地域の住民が中心になって開くイベントなど、様々な行事について紹介しましょう。

〈新しい言葉を調べよう〉

☆言葉の意味を調べて、書きましょう。

(お)祭り	神社	(お)寺	伝統的(な)
地域	住民	中心	イベント
行事	気候	のんびり(する)	市民
ふれあい	第(2)	くたくた	屋台
花火	ほら	のびのび(する)	企画(する)
運営(する)	手作り	スタッフ	走り回る
それにしても	喜ぶ		

※伝統的なお祭り:天神祭

☆次の言葉を使って、文を作りましょう。

1. のんびり(する) _____
2. くたくた _____
3. のびのび(する) _____

〈考えてみよう〉

1. お祭りが好きですか。
2. 日本でお祭りに行ったことがありますか。
3. お祭りに行って、どんなことをしましたか。



はな
〈話してみよう〉

つぎ かいわ こえ だ なんど れんしゅう
☆次の会話を声に出して、何度も練習しましょう。

やまもと にちようび なに
山本: リタさんは日曜日(に)に何をしましたか。

ともだち さそ むすめ いっしょ まつ い
リタ: 友達(と)に誘(さ)われて、娘(むすめ)と一緒に(いっしょ)にお祭り(まつ)に行きました。

やまもと がつ まつ めずら にほん まつ い なつ あき
山本: へえ、5月(がつ)にお祭り(まつ)って珍(めず)らしいですね。日本(にほん)でお祭り(まつ)と言(い)えば、夏(なつ)か秋(あき)ですよ。

たと おおさか ゆうめい まつ てんじんまつり がつ
例えば、大阪(たと)で有名(おお)なお祭り(まつ)は「天神祭(てんじんまつり)」ですが、7月(がつ)にあります。

リタ: ええ、でも、この季節(きせつ)だと気候(きこう)がいいから、のんびり(きもち)できて、気持ち(きもち)良かったです。

やまもと い
山本: リタさん(り)が行(い)ったのは、どこ(どこ)のお祭り(まつ)ですか。

リタ: 「市民(しみん)ふれあいまつり」というお祭り(まつ)です。毎年(まいとし)5月(がつ)の第2日曜日(だい にちようび)にある(あ)りそう(い)です。一日(いちにち)中(じゅう)遊(あそ)んで、くたくた(たの)になりましたが、楽(たの)しかったです。

やまもと よ
山本: そうですか。良(よ)かったですね。何(なに)をして遊(あそ)んだん(だ)ですか。

リタ: パレード(み)を見(み)たり、ゲーム大会(たいかい)に参(さん)加(か)したり、屋台(やたい)で食(た)べ物(もの)を買(か)って食(た)べたり(し)しました。夜(よる)には花火(はなび)もあつて、楽(たの)しかったです。ほら、これ(こ)がお祭り(まつ)の写(しゃ)真(しん)です。

やまもと むすめ
山本: へえ、にぎやか(にぎ)かです(す)ね。娘(むすめ)さん(さん)ものび(の)のび(の)楽(たの)しそう(い)に遊(あそ)んでいます(す)ね。

リタ: このお祭り(まつ)は、伝(でん)統(とう)的(てき)な(な)お祭り(まつ)で(で)は(は)なく(く)、市(し)民(みん)が企(き)画(かく)、運(うん)営(えい)する手(て)作(つく)り(り)のお祭り(まつ)り(り)なん(なん)です。友(とも)達(だち)は毎(まい)年(ねん)家(か)族(ぞく)で(で)行(い)く(く)そう(い)ですが、今(こと)年(ねん)は企(き)画(かく)・運(うん)営(えい)側(がわ)の(の)ス(ス)タ(タ)フ(フ)として、走(はし)り回(まわ)って(て)いま(いま)した(た)。

やまもと まつ ひと
山本: へえ、お祭り(まつ)の(の)ス(ス)タ(タ)フ(フ)なん(なん)ておもしろ(おもしろ)そう(い)です(す)ね。それ(それ)に(に)して(して)も、すご(すご)い(い)人(ひと)です(す)ね。店(みせ)もた(た)く(く)さん(さん)出(で)て(て)る(る)し(し)…。

リタ: ええ、子(こ)ども(ども)もい(い)れば、お年(とし)寄(よ)りもい(い)ました(た)ね。友(とも)達(だち)から、来(らい)年(ねん)はぜ(ぜ)ひ手(て)伝(つた)って(て)頼(たの)ま(ま)れ(れ)ました(た)。歌(うた)でも踊(おど)りでもい(い)い(い)し、外(がい)国(こく)の(の)料(りょう)理(り)も喜(よろこ)ば(ば)れる(る)そう(い)です(す)。

やまもと みせ だ わたし らいねん い
山本: いい(い)です(す)ね。リタさん(り)が店(みせ)を出(だ)す(す)なら、私(わたし)も来(らい)年(ねん)、行(い)っ(っ)て(て)み(み)よう(う)かな(な)…。

かいわ あ ぶん あ ぶん か
☆会話(かいわ)と合(あ)っ(っ)て(て)い(い)る(る)文(ぶん)に○、合(あ)っ(っ)て(て)い(い)ない(ない)文(ぶん)に×を(を)書(か)き(き)ま(ま)し(し)よう(う)。

1. () リタさん(り)は、日曜日(にちようび)に一人(ひとり)で(で)お祭り(まつ)に行(い)きました(た)。
2. () リタさん(り)が行(い)った(た)お祭り(まつ)は伝(でん)統(とう)的(てき)な(な)お祭り(まつ)です(す)。
3. () リタさん(り)はお祭り(まつ)の(の)パ(パ)レ(レ)ード(ード)を見(み)ました(た)。
4. () 山本さん(やまもと)はリタさん(り)にお祭り(まつ)の(の)写(しゃ)真(しん)を見(み)せて(て)もら(もら)いました(た)。
5. () 山本さん(やまもと)は来(らい)年(ねん)この(この)お祭り(まつ)で(で)店(みせ)を出(だ)そう(い)と思(おも)っ(っ)て(て)いま(いま)す(す)。

〈読んでみよう〉

☆次の文を読んで、質問に答えましょう。

やまもとさんはリタさんに、にちようびになにをしたかききました。リタさんは、ともだちにさそわれて、おすめといっしょにおまつりにいったといいました。おまつりでは、パレードをみたり、ゲームたいかいにさんかしたり、やたいでたべものをかってたべたりして、たのしかったそうです。やまもとさんはリタさんにおまつりのしゃしんをみせてもらいました。しゃしんのなかでリタさんのおすめはのびのびとたのしそうにあそんでいました。

そのおまつりは、でんとうてきなおまつりではなくて、しみんによってきかく、うんえいさされているそうです。リタさんのともだちは、まいとしかぞくでいくそうですが、こしは、きかく、うんえいがわのスタッフとしてはしりまわっていました。

そして、リタさんはともだちにらいねんはぜひおまつりをてつだってほしいとたのまれました。うたをうたってもいいし、おどりをおどってもいいし、りょうりをつくってうってもいいそうです。やまもとさんも、リタさんがみせをだすなら、そのおまつりにいってみようとおもいました。

1. リタさんは、お祭りまつりでどんなことをしましたか。
2. リタさんの娘むすめはどんな様子ようすでしたか。
3. リタさんは友達ともだちにどんなことを頼たのまれましたか。

☆漢字かんじを使って、文ぶんを書き直かしましょう。

〈使ってみよう〉

☆例を見て、文を作りましょう。

1. ~として

例 友達はこのイベントの企画、運営側のスタッフとして走り回っていました。

妹はこの病院で _____ として _____。

2. ~も~ば、~も

例 子どももいれば、お年寄りもいました。

_____ も _____ ば、 _____ も _____。

3. ~によって

例 そのお祭りは市民によって企画、運営されています。

この商品は _____ によって作られています。

〈インタビューしよう〉

☆友達や周りの人にインタビューしましょう。4と5は、質問を考えましょう。

1. 生まれ育った場所で、有名な行事は何ですか。
2. それはどんな行事ですか。そのとき、何をしますか。
3. ほかにもおもしろい行事があれば、紹介してください。
- 4.
- 5.

〈書いてみよう〉

☆質問の答えをまとめて、300字ぐらいの文を書きましょう。